



決算特別委員会(11月2日～19日)とコロナ特別委員会の質疑をご紹介します
(神奈川県議会インターネット中継検索で、ネットでもご覧いただけます。)

◆財政難の強調はやめるべき◆

コロナ禍でも引き続き県財政は黒字です。財政健全度指数は全国第3位。「危機的な財政難」とまで言って県民要望をあきらめさせるような発信は慎むべき。

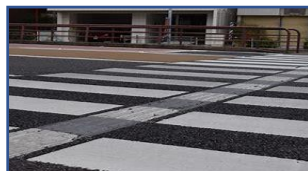
A. 社会保障など必要な予算は抑制しない。



◆交通安全施設整備の促進を◆

信号設置や横断歩道塗り替えなど年間千件の要望が県警に寄せられるが、予算がたりない。中でも横断歩道に点状ブロックを敷設するエスコートゾーンは設置数全国26位。死亡事故全国ワースト4なので、県庁周辺など急ぐべき。

A. 促進する計画がある。



◆県立学校の図書費の増額を◆

公立高校年間図書費 1校当たり

神奈川県	18.6万円
千葉県	104万円
埼玉県	105万円
横浜市	114.4万円

特別支援学校(盲学校聾学校以外)

神奈川県	4.4万円
千葉県	計上方法が別 不明
埼玉県	30万円
横浜市	40.2万円

この恥ずべき事態を示し、改善を求めました。

A. 増やしていく (高) 現場の声を聴く (特)

◆県有地売却は慎重に◆

未利用地は、県のち市町村で活用をはかり、活用されないとすれば民間売却となります。過去5年でほぼ半分の面積が売り払われてきました。**県有地は県民の財産**。広く活用をはかるために他県のように未利用地を公表するべき。 A. 公表はむずかしい。

◆水道スマートメーター設置に配慮を

・電気は100%スマートメーター(電子式電力量計)化されています。健康被害やプライバシーの侵害を訴える声をきいています。県営水道もその機器に上乗せしてスマート化されることになりましたが、アナログメーターのままを望む方にはその方法をお伝えするなどいていない。 A. 今後検討していく。他、水道管更新のテンポアップを求めました。

❖新型コロナ対策特別委員会❖

●コロナ後遺症に悩む方の実態把握と相談窓口の設置を。

A. 「知事との対話の広場」で当事者から生の声を聞き取る。県として相談窓口や医療機関の紹介など検討していく。

横浜市 コロナ全般の相談窓口
045-550-5530



他●入院できなかった方々への「地域療養の神奈川モデル」「市町村生活支援事業」は患者の安心につながる。本来入院につなぐべきではあるが、第6波に備え、政令市にも働きかけよ。 A. 引き続き働きかけていく。

●飲食店のマスク飲食認証店を覆面調査することは信頼関係を損ねる。中止すること。 A. 認証促進のために決めたが、想定をはるかに超えた店(3万軒超)が取り組んだ。実施例はないことから今後必要性を検討する